

氏名	飯岡由紀子	部署	大学院研究科	職名	教授
研究分野	臨床看護学、がん看護学、看護教育、Women's Health、慢性期看護学				
学位	博士（看護学）				
学歴	聖路加看護大学看護学部看護学科、聖路加看護大学看護学研究科博士前期課程、聖路加看護大学看護学研究科博士後期課程				
経歴	兵庫県立看護大学助手、杏林大学保健学部看護学科助手、聖路加看護大学助手、聖路加看護大学准教授、東京女子医科大学看護学部教授				
所属学会（役職）	日本看護科学学会（査読委員）、日本がん看護学会（代議員・査読委員）、日本緩和医療学会、日本乳癌学会、日本看護学教育学会、聖路加看護学会、日本女性医学学会（幹事）、日本女性心身医学会（評議員）				

【2020年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	老年看護学概論/老年保健	共著	あり	メヂカルフレンド社、238	編集：亀井智子 執筆：亀井智子、山本由子、高橋恵子、鈴木みずえ、糸井和佳、河田萌生、金盛琢也、木島輝美、飯岡由紀子、川上千春、高橋奈津子、尾崎章子、堀内園子、六角僚子	2020.11
2	看護学入門10 成人看護Ⅲ	共著	あり	メヂカルフレンド社、324	編集：小林寛伊、飯岡由紀子 執筆：新井嘉容、五十嵐敦之、坂田礼、福岡詩麻、中村奈津子、深谷卓、中川寛一、飯岡由紀子、大場良子、金さやか、星野純子、井ノ下心	2020.11
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	がんサバイバーの看護師が仕事と療養生活の両立のために職場に対して抱いた配	共同		第40回日本看護科学学会学術集会、東京	○櫻井理恵、飯岡由紀子、常盤文枝	2020.12
2	就労妊婦が抱く身体活動への思いと行動の実際	共同		第40回日本看護科学学会学術集会、東京	○山本英子、飯岡由紀子	2020.12
3	看護における「バイタルサインの正確な測定」の概念分析	共同		第40回日本看護科学学会学術集会、東京	○渡邊恵、飯岡由紀子	2020.12
4	対人関係が更年期症状に与える影響に関する検討	共同		第35回日本女性医学学会、東京	○白橋真由、小川真里子、西川裕子、橋本志保、杉本重里、飯岡由紀子、堀内	2020.10
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	内分泌治療中の乳がん患者のための支援プログラムの臨床評価	共著		木村看護教育振興財団看護研究収録 27号 131-138	○飯岡由紀子、岩田多加子、廣田千穂、山内英子	2020.11
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究B）			チームの納得を促進するための看護師のコーディネート力向上プログラム開発と評価	研究代表者	2019～2023年度
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）			AYA世代婦人科がん体験者における女性性の危機と再適応を促す因果モデルの検証	研究分担者	2020～2023年度
3. 教育業績						

(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	がん看護学概論	○	15	がん看護学領域における対象理解と援助の基盤となる理論・概念について理解する。
2	がん病態生理学	○	15	様々ながんの病態生理、診断と治療について学び、アセスメントや看護に役立てる方略を考える。
3	看護研究	○	9	看護の向上や発展をはかるために必要な看護研究の方法に関する基礎的知識・技術を理解し、看護学における研究の役割や研究プロセス、研究成果の臨床への適応について理解する。
4	看護倫理	○	8	保健医療福祉分野において、看護の実践・研究・教育を探究するために必須となる理論的基盤について学術的に考察する。
5	がん看護学援助論Ⅱ	○	15	がん患者の生活の再構築を促すための看護を基盤として、療養生活をおくるがん患者・家族が、治療と生活の両立をより促進できるようにするための看護を理解する。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	-			
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	IPW実習		4日	
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文		主指導	名 副指導 名
2	修士論文	2020.4～2021.3	主指導（指導教員）	4名 副指導（指導補助教員） 名
3	博士論文	2020.4～2021.3	主指導（指導教員）	2名 副指導（指導補助教員） 名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	慶應義塾大学 非常勤講師	2020.11	助産師専攻学生が、更年期医療とケアの理解を深める。	
2	上智大学 非常勤講師	2020.5	助産師専攻科学生が、更年期医療とケアの理解を深める。	
3	聖路加国際大学 非常勤講師	2020.11	大学院ウィメンズヘルス専攻学生に、更年期医療とケアの理解を深める。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研究会、公開講座等の講師				
	講演会、研究会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	看護師研修	東京女子医科大学八千代医療センター	看護師へのリフレクション研修：リフレクションプログラム	2020.10～12
2	第78回e医学教育セミナーとワークショップ	岐阜大学医学教育研究センター	臨地実習において教育上の調整が必要な学生への支援を考えよう	2021.1
3	茨城県助産師会研修	茨城県助産師会	更年期女性をサポートするための基礎的知識とケア	2021.2
4	鳥取大学研修	鳥取大学	教育上の調整が必要な学生の学びにつなげる対応	2020.11
5	看護師長研修	埼玉県立がんセンター	ELNEC-Jフォローアップ研修：リフレクションプログラム	2021.1
6	看護師長研修	東京女子医科大学八千代医療センター	リフレクションプログラム：答えはあなたの語る体験の中にある	2021.3
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	該当なし			
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			

(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	大学院入試委員会		2020.4～2021.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	研究推進委員会		2020.4～2021.3
3	全学的委員会及びセンター業務等	ハラスメント相談員		2020.4～2021.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				